

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年2月20日
北陸信越運輸局

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
妙高市地域公共交通協議会	妙高市	市営バス関・燕温泉線(関山駅～大洞原～燕温泉)	<p>・地域住民だけでなく来訪者も利用しやすいように、鉄道や観光路線である市営バス「妙高山麓線」との接続を考慮したダイヤを設定し、利便性の向上に努めた。</p> <p>・ホームページを修正し、より分かりやすい内容にするとともに、定期券や回数券の情報も掲載することで利用促進を図った。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適正に実施された。	A <ul style="list-style-type: none"> ●目標:直近年度(R3年度)の運賃収入水準(1,171千円)を維持する。 ●実績:1,729千円(達成) ●事業効果:路線維持により住民等の日常生活に必要な移動手段を確保 ●目標達成の要因:新型コロナウイルス感染症の影響が減少したことにより、外出機会が増加したことで利用者が増加したことが要因と考えられる。 	<p>・引き続き、鉄道との接続や観光路線である市営バス「妙高山麓線」との接続を考慮したダイヤとし、来訪者の移動手段の確保と利便性向上を図る。</p> <p>・引き続き、市ホームページ等を用いて情報発信を行い、わかりやすく正確な情報提供に努め、利用者の利便性向上に努める。</p>	協議会における事業評価結果の③から⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、さらなる実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果
			③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果
妙高市地域公共交通協議会	妙高市	市営バス杉野沢線C(妙高高原駅～いもり池入口～杉野沢上) 市営バス杉野沢線E(杉野沢上～関川関所前～妙高病院前) 市営バス杉野沢線F(妙高高原駅～関川関所前～杉野沢上)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の統廃合により、スクールバスを兼ねていた便を1便減便としたことから(市営バスではなくスクール専用便として運行)、より鉄道との接続を考慮したダイヤへ見直しを行うことができた。 ・ホームページを修正し、より分かりやすい内容にするとともに、定期券や回数券の情報も掲載することで利用促進を図った。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適正に実施された。	A <ul style="list-style-type: none"> ●目標：直近年度(R3年度)の運賃収入水準(1,234千円)を維持する。 ●実績：2,044千円(達成) ●事業効果：路線維持により住民等の日常生活に必要な移動手段を確保 ●目標達成の要因：新型コロナウイルス感染症の影響が減少したことにより、外出機会が増加したことで利用者が増加したことが要因と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と観光客のニーズに合わせたダイヤを検討する。また、観光路線である「妙高山麓線」との接続を考慮したダイヤの見直しを行い、来訪者の移動手段の確保と利便性向上を図る。 ・引き続き、市ホームページ等を用いて情報発信を行い、わかりやすく正確な情報提供に努め、利用者の利便性向上に努める。 	協議会における事業評価結果の③から⑤までについては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここで示された改善策のみならず、さらなる実績向上に向けて新たな改善策及びその具体化についても改めて検討し、その実施について地域一体となって適切に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。
妙高市地域公共交通協議会	新井タクシー株式会社	乗合タクシー関山ルート(妙高市新井地区及び関山地区、上越市中郷区)	<ul style="list-style-type: none"> ・自社と市のホームページに乗合タクシーの情報を掲載し、広く周知することで、新規利用者の増加を図った。 ・利用者のニーズに合わせ、「直売センターとまと」まで路線を延伸し利便性の向上に努めた。 	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適正に実施された。	A <ul style="list-style-type: none"> ●目標：直近年度(R3年度)の運賃収入水準を維持(269千円)する。 ●実績：317千円(達成) ●事業効果：路線維持により住民等の日常生活に必要な移動手段を確保 ●目標達成の分析：前年度の運賃水準を維持することができたが、新型コロナウイルスの影響を受け利用状況は下げ止まりの状況となっている。 	令和5年9月30日をもって事業完了(路線廃止)	協議会における事業評価結果の③から⑥までについては自己評価のとおりである。地域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図られるよう期待する。